

令和8年3月16日

保護者 様

浦安市立浦安小学校
校長 臼井基之

令和7年度 浦安小学校「学校評価アンケート」の結果について

仲春の候、保護者の皆様にはご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、過日ご協力いただきました学校評価のアンケートについて集計し、結果を取りまとめましたので、下記のとおりご報告いたします。

保護者の皆様からいただきました評価を真摯に受け止めるとともに、本校学校地域連携運営協議会における報告・協議をもとに、次年度の学校運営に生かしてまいります。

今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1 調査・集計・評価等について

- (1) 調査期間 令和7年12月
- (2) 回収率 児童97.9%・保護者61.3%
- (3) 集計・評価のしかた

本校の「めざす子ども像」を含む観点について、「そう思う」・「ややそう思う」・「あまりそう思わない」・「そう思わない」の4段階の中から一つを選ぶ4件法で実施した学校評価 アンケートの結果を集計しました。「そう思う」及び「ややそう思う」を肯定的回答（肯定的評価）、「あまりそう思わない」及び「そう思わない」を否定的回答（否定的評価）としてとらえ、主に児童・保護者の二者の比較から結果を評価し、取りまとめました。

2 児童・保護者アンケートの結果について

- (1) 児童アンケートにおいて、肯定的回答が9割を超えた項目

※27調査項目中、以下の10項目（37%）において、9割を超える肯定的回答があった。

調査項目	質問内容	R7 肯定的回答	過去2年間の 肯定的回答
1	わたしは、毎日、朝食を食べている。	94%	93%・94%
8	わたしは、先生や友達の話をよく聞いている。	91%	87%・87%
9	わたしは、一生懸命に掃除をしている。	90%	92%・93%
14	浦安小学校の先生は、わたしに声をかけてくれたり、心配してくれたりしている。	90%	81%・83%
18	わたしは、担任の先生の授業をわかりやすいと思う。	94%	調査なし
19	わたしは、学級担任以外の先生が教える授業を、わかりやすいと思う。	90%	92%・92%
21	わたしは、学校でコンピュータやタブレットを使った学習を、わかりやすいと思う。	91%	86%・90%
25	わたしは、人の役に立つ人間になりたいと思う。	93%	92%・95%
26	わたしは、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	94%	94%・95%
27	わたしは、けがや事故がないように気を付けて生活している。	92%	88%・89%

(2) 保護者アンケートにおいて、肯定的回答が9割を超えた項目

※27調査項目中、以下の16項目（59%）において、9割を超える肯定的回答があった。

調査項目	質問内容	R7 肯定的回答	過去2年間の 肯定的回答
1	お子さんは、毎日、朝食を食べている。	96%	96%・ 97%
2	お子さんは、毎日、同じくらいの時刻に就寝し起床している。	95%	98% ・94%
4	お子さんは、誰に対しても優しく接している。	92%	92%・ 94%
8	お子さんは、ルールや約束を守って生活している。	92%	92%・ 97%
12	浦安小学校の教職員は、お子さんのよいところを認めてくれている。	95%	95% ・ 95%
13	浦安小学校の教職員は、お子さんに声をかけたり、心配したりして見守っている。	95%	90%・92%
14	浦安小学校には、お子さんに困ったことや不安があるときは、いつでも相談できる教職員がいる。	91%	85%・90%
15	お子さんは、楽しく学校に通っている。	93%	91%・ 96%
18	一部の教科について、教科担任制で（担任の先生以外が）授業を行うことは、お子さんの学習に効果的だと思う。	98%	98% ・ 98%
19	算数のように、学級をいくつかに分けて行う授業は、お子さんの学習に効果的だと思う。【4年生以上】 1つの学級に複数の教職員が入って行う授業は、お子さんの学習に効果的だと思う。【3年生以下】	99%	100% ・98%
22	お子さんは、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。	98%	97%・ 100%
23	お子さんは、けがや事故がないように気を付けて生活している。	90%	91%・ 93%
24	学校は、いじめや事故のない、安全で安心な学校づくりに努めている。	92%	89%・90%
25	学校の教職員は、保護者からの問合せや相談事に誠実に対応している。	93%	95% ・ 95%
26	学校は、キッズビューでの配信により、学校の情報を伝えている。	99%	92%・87%
27	学校は、近隣のこども園・保育園、小学校、中学校と連携して諸活動を進めている。	95%	88%・89%

(3) 児童アンケートにおいて、肯定的回答が8割を下回る項目

※27調査項目中、以下の7項目（26%）において、8割を下回る肯定的回答であった。

調査項目	質問内容	R7肯定的 回答	過去2年間の 肯定的回答
2	わたしは、毎日、同じくらいの時間に寝たり起きたりしている。	76%	74% ・75%
5	わたしは、様々なことに挑戦している。	79%	78%・ 77%
7	わたしは、時間を守って行動している。	78%	76% ・80%
10	わたしは、子ども会など、地域の行事や活動に参加している。	57%	62%・60%
15	わたしは、困ったことや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	66%	66% ・71%
23	わたしは、外国の人と友達になったり、外国語のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。	73%	70% ・79%
24	わたしは、家で、計画を立てて勉強している。（学校の授業の予習や復習を含みます。）	63%	60% ・ 60%

(4) 保護者アンケートにおいて、肯定的回答が8割を下回る項目

※27調査項目中、以下の7項目（26%）において、8割を下回る肯定的回答であった。

調査項目	質問内容	R7肯定的 回答	過去2年間の 肯定的回答
3	お子さんは、進んで挨拶をしている。	75%	67% ・69%
6	お子さんは、うまくいかなかったり失敗したりしても、粘り強く頑張ろうとしている。	70%	70%・ 68%
7	お子さんは、時間を守って行動している。	73%	73%・ 70%
9	お子さんは、片付けや整理整頓をしている。	55%	43% ・44%
10	お子さんは、子ども会など、地域の行事や活動に参加している。	68%	64%・ 58%
11	お子さんは、将来の夢や目標をもっている。	73%	73% ・74%
21	お子さんは、家で、計画を立てて学習している。（学校の授業の予習や復習を含みます。）	56%	46% ・52%

「朝食を食べている」「いじめはいけないことであると思っている」「けがや事故がないように気を付けて生活している」の3項目において、児童・保護者ともに9割を超える肯定的回答となり、日常生活の中で特に大切にしている内容であることがわかる。

その反面、「地域の行事や活動に参加している」「家で計画を立てて勉強している」の調査項目において、児童・保護者に共通し、他の評価項目と比べると肯定的評価が低い項目となった。

また、児童と保護者の間で意識の差がある調査項目として、「掃除」「片付けや整理整頓」があげられる。児童は「一生懸命に掃除をしている」と考えているが、その行動が、家庭での生活にまでには反映していないためか、保護者は「片付けや整理整頓をしていない」（否定的回答45%）と捉えている。学校の掃除の時間だけでなく、日常の場面において、自ら片付け・整理整頓できる習慣を学校でも身に付けさせていきたい。「浦安小学校には、お子さんに困ったことや不安があるときは、いつでも相談できる教職員がいる。」の調査項目においては、保護者は肯定的回答が91%であるのに対し、児童は肯定的回答が66%と低く、大きな差がある点は、学校の課題であると捉え、対応を考えていく。

3 主体的な学び「自ら課題をもち、学び合いを通して考えを広げ、深める子」について

(1) 学校の勉強の理解

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童 17	わたしは、学校の勉強がよくわかる。	85%	84%・83%
保護者 16	お子さんは、学校の勉強を理解している。	87%	89%・87%

※ 児童（学年別）の否定的回答について

勉強がよくわかる	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
あまり思わない	13%	23%	9%	10%	7%	11%
思わない	6%	4%	5%	0%	2%	2%

児童、保護者ともに肯定的回答が8割以上の状況がみられる一方で、どの学年においても「あまり思わない」「思わない」と否定的な回答をした児童がみられる。学校として、継続して「勉強がわかる」よう学習支援を続け、否定的回答の減少に取り組む必要がある。

(2) 学級担任の授業のわかりやすさ

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童 18	わたしは、担任の先生の授業をわかりやすいと思う。	94%	調査なし
保護者 17	お子さんは、担任の先生の授業はわかりやすいと話している。	89%	調査なし

「担任の先生の授業をわかりやすい」と思う児童は9割以上、保護者も9割程度であるものの、積極的肯定には両者に2割以上の開きがみられる。（最も肯定「そう思う」児童74%・保護者53%）

(3) 学級担任以外の教員の授業のわかりやすさ・効果

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童 19	わたしは、学級担任以外の先生が教える授業を、わかりやすいと思う。	90%	92%・92%
保護者 18	一部の教科について、教科担任制で（担任の先生以外が）授業を行うことは、お子さんの学習に効果的だと思う。	98%	98%・98%

「学級担任の先生以外の先生が教える授業を、わかりやすい」と思う児童は9割弱で、昨年度よりも若干下がる。「一部の教科について、教科担任制で授業を行うことは、お子さんの学習に効果的だ」と思う保護者はほぼ100%が続き、積極的肯定も全体の3/4以上に回復傾向がみられる。

(4) 少人数指導やチーム・ティーチングによる授業のわかりやすさ

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童 20	わたしは、算数のように学級をいくつかに分けて行う授業を、わかりやすいと思う。【4年生以上】 わたしは、何人かの先生が教室に入って行う授業を、わかりやすいと思う。【3年生以下】	88%	88%・90%
保護者 19	算数のように、学級をいくつかに分けて行う授業は、お子さんの学習に効果的だと思う。【4年生以上】 1つの学級に複数の教職員が入って行う授業は、お子さんの学習に効果的だと思う。【3年生以下】	99%	100%・98%

「学級をいくつかに分けて行う授業は、わかりやすい」と思う児童（4年生以上）及び「何人かの先生が教室に入って行う授業は、わかりやすい」と思う児童（3年生以下）は、合算で9割弱の状況が続く。保護者の肯定的な評価はほぼ100%の状況である。

【保護者】※最も肯定「そう思う」 ●令和6年度79% ●令和7年度87% (+8p)

(5) コンピュータやタブレットを使った学習のわかりやすさ

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童21	わたしは、学校でコンピュータやタブレットを使った学習を、わかりやすいと思う。	91%	86%・90%

「コンピュータやタブレットを使った学習を、わかりやすい」と思う児童は増加し、9割を超える。積極的肯定も5ポイント増え、全体の2/3以上に達する。

【児童】※最も肯定「そう思う」 ●令和6年度62% ●令和7年度67% (+5p)

(6) 計画的な家庭学習

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童24	わたしは、家で、計画を立てて勉強している。(学校の授業の予習や復習を含みます。)	63%	60%・60%
保護者21	お子さんは、家で、計画を立てて学習している。(学校の授業の予習や復習を含みます。)	56%	46%・52%

※ 肯定的回答について 学年別の状況 (児童・保護者)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
児童肯定的回答	70%	58%	68%	59%	65%	54%
保護者肯定的回答	58%	46%	60%	48%	68%	57%

※ 否定的回答について 学年別の状況 (児童)

計画的に学習	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
あまり思わない	16%	25%	15%	25%	25%	22%
思わない	15%	18%	17%	17%	9%	24%

<調査結果から>

(3) について、一部教科担任制の実施により、児童一人一人の学習状況について多面的・多角的にとらえ、助言や支援に生かすことなど、本年度も一定の成果がみられました。しかし、児童の最も肯定的な「そう思う」は下降傾向となり、11%の児童は否定的な回答であったため、一部教科担任制と併せて、個に応じた指導の一層の充実に取り組んでまいります。

(4) について、昨年度に引き続き、1年生から3年生については複数教員による協力的な授業(ティーム・ティーチング)を、4年生から6年生の算数の学習については、2学級を習熟の程度に応じた3つのグループに分けて授業を行ったことにより、本年度も、児童一人一人の習熟状況が把握しやすく、質問したり、落ち着いて学習したりする konnten と考えます。

(5) について、日々の授業において、コンピュータやタブレット端末を、学習のためのツールとして日常的に活用しています。調べ学習やプレゼンテーションソフトによる資料の作成、「ミライシード」での学習はもちろん、現在の教育活動にとって不可欠な要素となっています。「メディアセンター」も今年度から本格的に運用が開始され、同センターの機能を効果的に活用するなどしてICTの活用を一層推進し、児童や教職員の情報リテラシーを高めてまいります。

(6) について、肯定的回答は児童・保護者共に増加しましたが、他の調査項目に比べると、大きな課題であることがわかります。まずは①の回答のように、学校として、継続して「勉強がわかる」よう学習支援を続けていき、その上で、児童が主体的に学習に取り組めるよう、家庭とも連携し、課題を解決していきたいと思ひます。

4 自他を尊重する心 「自他を認める温かい心をもつ子」について

(1) 誰に対しても優しく接すること

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童4	わたしは、誰に対しても優しく接している。	84%	86%・84%
保護者4	お子さんは、誰に対しても優しく接している。	92%	92%・94%

「誰に対しても優しく接している」という児童・保護者は、共に昨年度とほぼ同程度。しかし、保護者の積極的肯定は1割以上上昇し、5割を超える。

【保護者】※最も肯定「そう思う」 ●令和6年度40% ●令和7年度51% (+11p)

(2) 自分のよさ

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童12	わたしには、よいところがある。	86%	88%・85%

(3) 児童のよさに対する教職員の評価

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童13	先生は、わたしのよいところを認めてくれている。	87%	84%・88%
保護者12	浦安小学校の教職員は、お子さんのよいところを認めてくれている。	95%	95%・95%

<調査結果から>

本校では、日常生活の中で、上学年児童が下学年児童に対して優しく接している姿がよく見られます。また、機会あるごとに本校のめざす子ども像の「豊かなかかわり」「温かい心」を各 諸活動のねらいの一つに位置付け、更に意図的・継続的に取り組んでまいりました。

児童調査項目4の「優しく接する」について、児童・保護者ともに、肯定的評価の数値はほぼ同程度でしたが、保護者の最も肯定的な「そう思う」は、昨年度と比べ10ポイント以上高くなりました。

引き続き、道徳科をはじめ日常の諸活動の中で、一層本姿勢を高められるよう取り組んでまいります。

また、児童調査項目12の「よいところがある」については、全校児童がそう思えるよう、すべての教職員で浦安小学校の児童一人一人のよさを更に見取り、伸ばしていきたいと思っております。

5 健やかな体 「自分を信じて挑戦する子」について

(1) 様々なことへの挑戦

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童5	わたしは、様々なことに挑戦している。	79%	78%・77%
保護者5	お子さんは、様々なことに挑戦している。	82%	75%・80%

「様々なことに挑戦している」という児童は昨年度と同程度で、8割弱の状況が続く。保護者の評価は上昇傾向に転じ8割を超え、両者の差が縮まる。

(2) 粘り強さ

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童6	わたしは、うまくいかなかったり失敗したりしても、粘り強くがんばろうとしている。	81%	81%・85%
保護者6	お子さんは、うまくいかなかったり失敗したりしても、粘り強く頑張ろうとしている。	70%	70%・68%

<調査結果から>

「めざす子ども像」の中の一つである「自分を信じて挑戦」を、「さらに挑戦(粘り強く)」とし、機会あるごとに児童に働きかけて取り組んできましたが、昨年度とほぼ同程度で現状維持となりました。

一方、「粘り強さ」に係る児童の肯定的回答81%で、「挑戦」よりも「粘り強さ」の方が若干高くなっているのに対し、保護者は児童と反対で、「粘り強さ」に対する肯定的回答の方が低くなります。

来年度も引き続き、児童が自己有用感や自己肯定感を高める評価の工夫とともに、更に自信をもって「粘り強く」挑戦・活動できるよう支援してまいります。

6 豊かなかかわり 「様々な立場の人と積極的にかかわる子」について

(1) 進んで挨拶

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童3	わたしは、自分から進んであいさつをしている。	82%	81%・75%
保護者3	お子さんは、進んで挨拶をしている。	75%	67%・69%

【保護者】※最も肯定「そう思う」令和6年度17% 令和7年度33% (+16p)

<調査結果から>

「自分から進んで挨拶」について、保護者の評価は、昨年度まで6割台にとどまっていたが、今年度は7割台となり、児童と保護者の肯定的な回答の差が縮まりました。学校では、毎朝、児童昇降口で、主体的に丁寧な、または、元気に挨拶をする児童がととも増えたと感じています。

「浦安っ子のあたりまえ」の中に掲げている「気持ちのよいあいさつ」については、「めざす子ども像」の「豊かなかかわり」「温かい心」につながる大切なコミュニケーションの第一歩となるものです。今後も引き続き、「あいさつ」を大切にして、指導を積み重ねていきます。

(2) 地域の行事や活動への参加

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童10	わたしは、子ども会など、地域の行事や活動に参加している。	57%	62%・60%
保護者10	お子さんは、子ども会など、地域の行事や活動に参加している。	68%	64%・58%

「地域の行事や活動に参加している」という児童は下降傾向に対し、保護者は7割弱に上昇傾向、積極的肯定も1割弱高まり、両者の評価が開く傾向がみられる。

【保護者】※最も肯定「そう思う」 ●令和6年度30% ●令和7年度39% (+9p)

※ 学年別肯定的回答結果

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
児童肯定的回答	56%	58%	73%	58%	55%	38%
保護者肯定的回答	81%	76%	80%	77%	45%	44%

<調査結果から>

児童の肯定的評価について、肯定的回答が昨年度より減少し、6割を下回りました。学年ごとに、通塾や習い事による環境的な要因であったり、あるいは、興味・関心等の違いであったりと複合的な背景が考えられます。

3年生児童の肯定的回答が高い背景として、社会科や総合的な学習の時間で、地域学習を充実させてきたことが考えられます。興味深い結果であるため、次年度も学年ごとの状況を詳しく比較・検討していきたいと思えます。

引き続き、本校学校地域連携運営協議会の機能を更に生かし、児童と地域との「豊かなかかわり」が一層進められるよう、取り組んでまいります。

7 園・小中連携「夢に向かって自分を磨き 地域の未来を切り拓く子」について

(1) 園・小・中学校の連携

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
保護者27	学校は、近隣のこども園・保育園、小学校、中学校と連携して諸活動を進めている。	95%	88%・89%

※ 本質問項目については、浦安中学校区内の連携にとどまらず、オンライン等を含め、他地域の小・中学校やこども園、保育園との連携を進めているため、今年度、質問内容を「浦安中学区」から「近隣の」に変更しました。

<調査結果から>

保護者の肯定的回答は前年度よりも7ポイント増となり、また、最も肯定的な「そう思う」も、前年度の47%から55%と8ポイント上昇しました。次年度も継続して、浦安中学区を中心に、近隣の園・学校との連携を推進していきます。

8 学校運営全般について

(1) 楽しく学校に通うこと

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童 16	わたしは、学校に行くことが楽しい。	85%	84%・82%
保護者 15	お子さんは、楽しく学校に通っている。	93%	91%・96%

「学校に行くことが楽しい」と思う児童は8割台で3年を通して微増、「お子さんは、楽しく学校に通っている」という保護者は9割以上で、最も肯定的回答「そう思う」に上昇傾向がみられる。

【児童】 ※最も肯定「そう思う」令和6年度53% 令和7年度56% (+3p)
【保護者】 ※最も肯定「そう思う」令和6年度58% 令和7年度63% (+5p)

<調査結果から>

本項目について、子どもたちが楽しく学校に通えるということは、本校の教育活動を進める前提として欠かせない要素の一つです。

しかし、児童の15%（6人に1に人弱）が否定的な回答をしています。この背景として、次項(2)とともに、「先生は、わたしのよいところを認めてくれている」（児童調査項目14）についての否定的回答が10%、「困ったときや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」（児童調査項目16）の同回答が34%（3人に1人程度）であること等がその背景として考えられます。

そのため、個に応じた指導とともに相談体制を一層推進・充実するため、指導・支援の体制や方法を更に工夫改善してまいります。

(2) 本校教職員による児童の見守り

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
児童 14	浦安小学校の先生は、わたしに声をかけてくれたり、心配してくれたりしている。	90%	81%・83%
保護者 13	浦安小学校の教職員は、お子さんに声をかけたり、心配したりして見守っている。	95%	90%・92%

「浦安小学校の先生（教職員）は、わたし（お子さん）に声をかけてくれたり、心配してくれたりして（見守って）いる」と思う児童は昨年度よりも9ポイント高まり9割に達し、保護者は昨年度よりも5ポイント高まり95%に、「そう思う」は10ポイント以上高まり、全体の約2/3に達する。

【児童】 ※最も肯定「そう思う」令和6年度46% 令和7年度63% (+17p)
【保護者】 ※最も肯定「そう思う」令和6年度53% 令和7年度66% (+13p)

<調査結果から>

教職員が「見守る」という姿勢から、より積極的に「声をかける」ようにし、児童が「先生、あのね…」と、「相談」のための言葉を発しやすくなるように支援してまいりました。引き続き、「浦安小の子ども、浦安小の先生」を合言葉に、全教職員で児童一人一人の支援に取り組み、一層安全・安心な学校づくり・学校運営に努めます。

(3) 安全・安心な学校づくり

調査項目	質問内容	肯定的回答	過去2年間の肯定的回答
保護者 24	学校は、いじめや事故のない、安全で安心な学校づくりに努めている。 ※最も肯定「そう思う」令和6年度39% 令和7年度51% (+12p)	92%	89%・90%
保護者 25	学校の教職員は、保護者からの問合せや相談事に誠実に対応している。 ※最も肯定「そう思う」令和6年度58% 令和7年度65% (+7p)	93%	95%・95%
保護者 26	学校は、キッズビューでの配信により、学校の情報を伝えている。 ※最も肯定「そう思う」令和6年度60% 令和7年度78% (+18p)	99%	92%・87%

<調査結果から>

9割を超える保護者から肯定的回答をいただきましたが、今年度も否定的回答をされた保護者がおられました。このことを真摯に受け止め、各教育活動の一層の改善・推進・充実について、学校と保護者・地域が更に連携して協働的に取り組めるよう、本校学校地域連携運営協議会の機能を生かし、安全・安心で魅力ある学校づくりに一層取り組んでまいります。